

中央環境審議会総合政策部会（第111回）

議事要旨

■ 審議方法：書面審議

■ 議 題：中央環境審議会総合政策部会の小委員会の設置について

■ 審議結果：9月27日付けで各委員に開催通知を送付し、電子メール等にて回答を得た。10月9日に回答結果を部会長に報告し、風力発電に係る環境影響評価制度の在り方に関する小委員会の設置について了承を得て、10月10日付けで同小委員会が設置された。

■ 議事概要：別紙のとおり。

(別紙)

中央環境審議会総合政策部会（第111回）議事概要
(議題：中央環境審議会総合政策部会の小委員会の設置について)

■回答結果

了承する : 31名

了承しない : 0名

■個別にいただいた御意見及びその対応

御意見	対応
<p>[崎田裕子委員]</p> <p>検討項目に関して、自然環境への影響だけでなく、歴史文化や、耐用年数後のリサイクル対策などにも配慮いただきたいと考える。</p>	<p>当該小委員会では、環境への適正な配慮を確保する観点から、適切な風力発電事業に係る環境影響評価の在り方について検討していく予定です。</p> <p>再生可能エネルギーについては、御指摘いただいた点も念頭に、地域との共生を図りながら、最大限の導入を進めていくため、関係省庁・関係部局が連携して取組を進めていくことが重要であると考えております。</p>
<p>[小屋かをり委員]</p> <p>カーボンニュートラルの実現に向けては、風力発電の推進は不可欠な施策である。他方、風力発電の開発において、地域生態系への悪影響や耐用年数経過後の廃棄、地域住民とのコミュニケーション不足が重要な問題と認識している。また、洋上風力発電施設の建設にかかる騒音規制が、一般的な建設工事よりも厳しく、風力発電推進の足かせとなっているという声もある。環境面はもちろんのこと、社会面・経済面も考慮した統合的な議論をお願いしたい。</p>	<p>当該小委員会では、環境への適正な配慮を確保する観点から、適切な風力発電事業に係る環境影響評価の在り方について御審議いただく予定です。</p> <p>再生可能エネルギーについては、御指摘いただいた点も念頭に、地域との共生を図りながら、最大限の導入を進めていくため、関係省庁・関係部局が連携して取組を進めていくことが重要であると考えております。</p>

<p>〔山口豊委員〕 とても大切な小委員会になることと存じます。</p>	<p>環境への適正な配慮を確保する観点から、適切な風力発電事業に係る環境影響評価の在り方について検討してまいります。</p>
--	--